

県大 jiman

2018
FEBRUARY
0 2 2
滋賀県立大学広報誌

特集1

県大ふるさと jiman

—エブリ県大生カミングアウト!—

特集2

Foreign Diary

特集3

学びのファッション&アイテムチェック

Kendai Gakka Collection

突撃!! jimanな先生: 平山琢二 准教授

After School Report: K'crew

News: 滋賀県立大学のオリジナルグッズの歴史

滋賀県立大学

県大イベントカレンダー

- | | | |
|----|-----|--|
| 2月 | 03日 | 調整期間 (月曜日授業の補講等) |
| | 06日 | 調整期間 (火曜日授業の補講等) |
| | 07日 | 調整期間 (水曜日授業の補講等)
大学院入試 (人間文化学研究所博士前期・後期課程、
人間看護学研究所修士課程) |
| | 08日 | 調整期間 (木曜日授業の補講等)
大学院入試 (人間文化学研究所博士前期課程) |
| | 10日 | 調整期間 (金曜日授業の補講等)
後期授業終了 |
| | 12日 | 後期定期試験 (~16日) |
| | 17日 | 地域活動実践チーム (~19日) |
| | 21日 | 第14回就職対策セミナー (直前対策セミナー) |
| | 22日 | 大学院入試 (環境科学研究所博士前期・後期課程) |
| | 25日 | 一般選抜前期試験 |
| 3月 | 02日 | 大学院入試 (工学研究科博士後期課程) |
| | 05日 | 学内企業研究会 (~8日) |
| | 12日 | 一般選抜後期試験 |
| | 21日 | 学位記授与式 |
| | 22日 | 春季休業開始 |
| 4月 | 05日 | 入学式・新入生オリエンテーション |
| | 06日 | 全学オリエンテーション |
| | 07日 | 新入生 TOEIC テスト |
| | 09日 | 前期授業開始 |
| 6月 | 06日 | 開学記念日 (通常授業日) |
| | 09日 | 京滋公立大学総合競技大会 (京滋戦) |
| | 16日 | 大学祭「湖島夏祭」 |
| 7月 | 14日 | 調整期間 (木曜日授業の補講等) |
| | 16日 | 調整期間 (月曜日授業の補講等) |
| | 21日 | オープンキャンパス |
| | 22日 | オープンキャンパス |
| | 24日 | 調整期間 (火曜日授業の補講等) |
| | 25日 | 調整期間 (水曜日授業の補講等) |
| | 28日 | 調整期間 (金曜日授業の補講等) |
| | 31日 | 前期定期試験 (~8月6日) |
| 8月 | 07日 | 夏季休業開始
調整期間 (集中講義) (~9日) |
| | 17日 | 地域活動実践チーム (~19日) |

県大 jiman

特集1
県大ふるさと jiman
—エブリ県大生カミングアウト!—

特集2
Foreign Diary

特集3
学びのファッション&アイテムチェック
Kendai Gakka Collection

第22号のテーマは「個性」です。

たくさんの学生が集まる県立大学には、色とりどりの個性があふれています。そんな鮮やかな個性も、忙しい日常の中ではつい見逃してしまいがち。

今号では、みなさんがもっている個性とは一体どのようなものか、県大生の方言や文化、学びのファッションやアイテム、留学生活など様々な視点から、ひとりひとりの「個性」に焦点を当ててみました。あなたも、県大 jiman で「個性」を探してみませんか。

CONTENTS

特集

03 県大ふるさと jiman

—エブリ県大生カミングアウト!—

05 Foreign Diary

07 学びのファッション&アイテムチェック
Kendai Gakka Collection

県大 REPORT

09 突撃!! jiman な先生: 平山 琢二准教授

11 After School Report: K' crew

12 information

13 News: 滋賀県立大学の
オリジナルグッズの歴史

編集後記 テーマ: 自分の「個性」を漢字一文字で表すと?



変幻自在。Flexible。
変人ちゃいますよ。
地域文化学科 3年 小林 真紀子



何事も堅実にが目標です。
でも「固」くはなりたくありません。
機械システム工学科 3年 吉川 知秀



名前の通り、真っ直ぐなそうです。
人間関係学科 2年 池田 真菜



ぼやぼやしている感じと
マイペースさがそれっぽいかと思います。
人間関係学科 2年 岸本 沙希



てんびん座のAB型。はざ間で揺れながら。
事務局 山奥 桂司



真面目そうに見られるものの、
実際はめんどくさがるの怠け者。
人間関係学科 2年 樋口 伶奈



新しい環境・物事が大好き、
興味があれば1人でも飛び込む私たちです。
環境政策・計画学科 2年 正木 美帆



睡眠欲には勝てませんわ。眠いです。
人間関係学科 2年 山根 光穂子



努力の花をたくさん咲かせたい!
地域文化学科 1年 高木 咲歩

国際コミュニケーション学科 2年 足立 実音
OB 高杉 昭高
事務局 今村 圭吾

学生広報スタッフ大募集!

広報誌作成グループでは、県大 jiman の作成に参加してくれる学生を募集しています。私たちと一緒に、県大の素敵な「jiman」をしてみませんか。デザインや編集の専門知識が無くても大丈夫です。外部のデザイナーさんや編集者を招いて勉強会なども行う予定ですので、興味のある方は、気軽にお問い合わせください。

滋賀県立大学広報誌「県大 jiman」第22号
発行 | 滋賀県立大学広報委員会
編集 | 広報誌作成グループ
〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500
TEL | 0749-28-8200 FAX | 0749-28-8470
E-mail | keiei_kikaku@office.usp.ac.jp
発行日 | 2018年2月
www.usp.ac.jp
紙面デザイン | 学生スタッフ
表紙写真 | 鈴木 純汰、吉川 知秀

年2回発行

夏号 7月上旬

冬号 2月下旬

県大ふるさと jiman

—エブリ県大生カミングアウト！—

滋賀県立大学には、日本全国さまざまな土地から学生が集まっています。そこで今回は、県大生の方言や習慣を大調査！事前にWEBで実施したアンケートをもとに、それぞれの地方の方言や習慣、特色ある食べ物などをまとめました。あなたの出身地の方言はありますか？ぜひチェックしてみてください！

Q 地元の特色ある食べ物は？

- 水ナス、うどんギョーザ 大阪府
- ソースカツ丼、カニ 福井県
- とうふちくわ 鳥取県
- 明石焼き 兵庫県
- 味噌おでん、味噌カツ 愛知県
- さばそうめん、赤こんにゃく、日野菜漬 滋賀県
- 明太子、クロガネ、羊羹、堅パン 福岡県
- 牡蠣、焼き牡蠣、もみじ饅頭、あなご飯 広島県
- ケランパン、生姜のお漬物 熊本県
- 黒はんぺん、「さわやか」のハンバーグ 静岡県
- 鶏ちゃん焼き 岐阜県
- 笹寿司 新潟県
- たけのこ 京都府
- ますのすし 富山県

Q 県大に来て周囲に通じなかった地元の方言は？

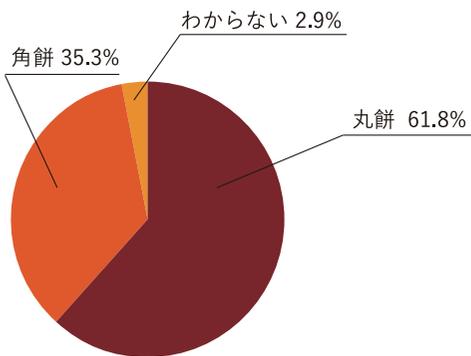
- ガチャ (近江鉄道のこと) 滋賀県
- おぼこい (幼い、かわいい) 京都府
- 遠慮のかたまり (ひとつ残し) 滋賀県
- あとげき (ドアを閉めること) 熊本県
- じゃかあしい (やかましい) 兵庫県
- しらこい (しらじらしい) 大阪府
- B紙 (模造紙) 岐阜県
- 線引き (定規) 静岡県
- しわい (かたい) 鳥取県
- 鍵をかう (かける) 愛知県
- ちみぎる (つねる) 三重県
- やこい (やわらかい) 富山県
- たいぎい (めんどうさい) 鳥取県
- つるつるいっぱい (溢れるほどいっぱい) 福井県
- はぶてる (腹を立てる、怒る) 広島県

Q 地元の個性が出ていると思う方言や習慣は？

- のんびりマイペース感。お店の人がタメ口で話しかけてくる、フレンドリー感。 兵庫県
- ～なが？ (質問するときの語尾) 富山県
- 「やお」を語尾につけて話す 岐阜県
- ちょけてる、ちょける (調子に乗る) 滋賀県
- だけん、～ばい、～けん、～と？ 熊本県
- お墓に灯籠を立てる 広島県
- こっちこりん、でら～だがあ 愛知県
- 訛りがすごい 福井県
- たこ焼きにキャベツを入れないこと 大阪府

番外編

雑煮に入れる餅、多いのはどっちだ？



雑煮に入れる餅が角餅か丸餅かというアンケートでは、丸餅が61.8%、角餅が35.3%という結果になりました。丸餅は関西、角餅は関東で多いのですが、やはり大学が関西なだけあってか、丸餅が多いという結果でした。また、餅を焼くか煮るかという違いも地方によってあるそうです。あなたは何派ですか？友人と比べてみても面白いかもしれませんね。

Foreign Diary

留学中の県大 jiman
スタッフに
インタビュー！

School Life



Mid Michigan Community College
ミッドミシガンコミュニティカレッジ

平日の一日

早い日は 8:30 から始まる 1 限に合わせて 7:30 のバスに
乗車。

朝

学校にいる間は授業。空き時間にはロビーで宿題や予習をしたり、友達とおしゃべりして過ごす。日によっては放課後にカフェや外食に行くことも！

昼

遅くても 18:30 に帰宅。夜ご飯、お風呂、宿題を済ませる。寝る前にお弁当の用意を忘れずに。

夜

寮生活

学校からバスで 30 分の距離にある寮。トイレ、お風呂、ベッドつきの広々とした個室があり、リビング・キッチン・洗濯機は共有で利用している。2 人部屋と 3 人部屋があり、足立さんは 2 人部屋を選んだ。ルームメイトはまだいない。



休日の過ごし方

一日は友達にどこかへ連れて行ってもらい、一日は課題をする、というパターンが多い。車なしではどこにも行けない田舎でありなかなか自由に動けないながらも、フットボール観戦、ショッピングモール、ミシガン湖に連れて行ってもらったリ、キャンプファイヤーやハロウィンパーティーに呼んでもらったりと満喫しているとのこと。



Profile

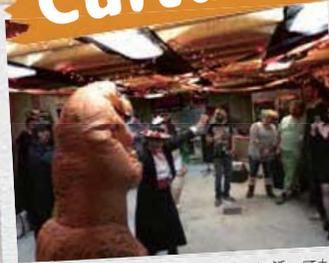
足立実音 人間文化学部
国際コミュニケーション学科 2年

Memo

県大 jiman スタッフきってのムードメーカー
その明るい笑顔に癒されること間違いなし！



Culture



友達の家ハロウィンパーティーに誘ってもらいました。仮装してダンスしてとても楽しかったです！



フローズンヨーグルトのお店。豊富な種類があるヨーグルト・トッピングを自由に選んで作るのがとっても楽しい！



アメフトはアメリカの人気スポーツなどけあってみんなの熱気がすごいです。すごく盛り上がっていました！

Q&A

- Q 留学生活でのびっくりエピソードを教えてください！
 A サウジアラビア人が多いこと、それから、校内や町中で普通にイチャイチャすることですね。ハンバーガーのお店とメキシカンファーストフード店がたくさんあることも驚きです。
- Q 学生たちはどんな服装？
 A 流行りのファッションは特にはないです。大学のロゴが入ったTシャツやパーカーを着ている人が多かったり、みんなあんまりこだわりがなさそうです。
- Q 海外にいて自分の「個性」を感じるのとはどんなとき？
 A 私は子供っぽいところがあるので、アメリカ人のよくわからないテンション高めなノリに乗ることが多いです。一緒にはしゃぐのはとても楽しいです！（笑）

留学を考える人へ一言！

留学中は、主に言語のことで苦しむことがたくさんあります。留学を考えている人は、日本に在る間にその国の言語をしっかりと勉強して、有意義なものにしてほしいです！

学びのファッション & アイテムチェック

KendaiGakkaCollection

県大 jiman の第 5 号で特集された「県大生学びのファッション&アイテムチェック」。今回の特集では、「県大生学びのファッション&アイテムチェック」の最新版を紹介します。県大には様々な学部・学科があり、学部・学科によって授業も多様です。皆さんは他学部・他学科の必需品であるファッションやアイテムを知っていますか？県大生の個性的な学びのファッションやアイテムを見てみましょう！第 5 号と比較して楽しんでみてください。第 5 号は滋賀県立大学のホームページで見ることができます。

地域文化学科 2年
堀内佑香里さん



真弧

真弧（まこ）という道具です。これは土器の形をとるもので、土器実測の際に使います。考古学を専攻している学生、または考古学実習の授業を受けている学生が使っていて、私は後者です。土器実測をしたときに、自分のとったデータが合っているかが簡単に確認できます。

作業着



2年生前期の加工実習や3年生後期の実験のときに着る作業着です。実習工場で鉄の棒などを加工するときに、安全に作業をするために着用します。作業時はこれに加えて保護メガネも着用します。私服の上に着るので、私服が汚れてしまうのを心配することなく作業に集中できます。

機械システム工学科 3年
小笹弘太さん

胴長

環境生態学科 2年
小林大輝さん、藤山信太郎さん



胴長という服で、川幅測定や水生生物の調査など、川に入るときに着用します。これを着ることで川に入っても濡れる心配はありませんが、着用したまま胴長の中に水が入ると、重みで沈んでしまいます。便利な面、利用方法に気を付けなければならないアイテムです。

材料科学科 2年
中西絵美さん



白衣

物理や科学の実験時に白衣を着用します。危険な薬品から守ってくれるため、着用は必須です。実験時間はいつも異なり、長いときは5時間になるときもあります。

看護服

実験や病院での実習時に着用します。一人ひとりの名前が刺繍されています。まさに滋賀県立大学人間看護学部の制服。病院で着用すれば、実習であってもプロの看護師と同じ扱いをされます。

人間看護学科 2年
戸川蒼葉さん



コック服

調理実習時に着用します。生活栄養学科内では通称「コック服」と呼ばれています(笑) ほぼ毎週着用して実習を行っており、作った料理は、食券を配布してほかの学生にふるまっています。

生活栄養学科 2年
牧野円佳さん



白衣

ほぼ毎週白衣を着て実験を行っています。化学はもちろんのこと、動物や植物も扱っており、様々な実験に日々取り組んでいます。夏に着用するとかなり暑いことが難点です…。

生物資源管理学科 2年
酒井隆裕さん、姫野敦行さん



突撃!!

じまなな先生

動物と人との 関わりを追求する



生物資源管理学科
平山琢二先生

産業動物と人との関係を探る

先生が研究されている内容は大きく三つに分けられる。

一つ目は畜産系の動物、生産に関する動物、実験動物、ペットといった産業動物に対するアニマルウェルフェア、つまり動物福祉に関連した研究である。ここでは産業動物と人との関わりを中心に研究している。一例としては、学生とともに国内の水族館で、世界的に飼育が難しい動物が長期間にわたって飼育される時、動物がどのようにストレスを回避しているのかを、来訪者の行動と合わせて調査する研究がある。

二つ目は獣の害を抑える研究である。これは畑などを荒らしたり、山中における生態系の破壊が行われたりする被害を抑制するために、効率よくかつ継続的に対策を行っていくことが主な内容である。これと関連して個体数を調整するときに殺処分したものをそのまま放棄してしまうのではなく何らかの形で人に還元できるような、例えば牛肉などに比べてなじみの少ない鹿肉といったジビエ食材を活用するためなどの



↑研究室にある畜獣の骨

元でできるような、例えば牛肉などに比べてなじみの少ない鹿肉といったジビエ食材を活用するためなどの

ような工夫が必要になるかといった研究もされている。

三つ目は他大学と共同で行っているICTを活用した放牧である。現在はセンサーのついたカプセルを牛に飲ませて胃の動きをモニタリングして、何をしているのかをGPSの位置情報とともにリアルタイムで把握するところまでの研究が進んでいる。将来的な目標としては牛を育てる方法としては最も効率がいいと言われている放牧を、牛をコントロールすることで放牧区や柵を設けずに行うこととだそう。

滋賀県民な羊たち

先生は学内で飼育されている2頭の羊の管理をされている。毛刈りを終えた5月ごろから11月までは放牧されているので外で動く姿を眺めることができる。この羊たちは生物資源管理学科での授業で活躍している。授業では羊を放牧する前の放牧地の管理やどのくらいの面積があれば何頭の羊を養うことができるかを示す牧羊力の試算、実際に羊の管理と行動の観察などを行っている。

ちなみにこの2頭の羊たちは滋賀県畜産技術振興センターで生まれた後に大学へ来たそうで、正真正銘の滋賀県民といえるでしょう。

先生の個性に迫る!

先生自身や先生の研究室には多くの個性あふれるものがあつた。特に目を引いたのは電子系の工作道具が多いこと、鹿の頭部の骨やなめされた皮が多いことだ。電子系の工作道具が多いのは先生自身が電子部品をいじるのが好きだということ、以前に研究で必要となる部品を自分で製作していたためである。鹿の頭部や皮の多くは先生自身が狩猟を行ってとったもので、興味として行う場合もあれば有害獣の駆除としても行う場合もあるそう。また先生は彦根市内で開催されたシティマラソンに参加されるなど多くの個性があつた。



↑工具がたくさん先生の机

部や皮の多くは先生自身が狩猟を行ってとったもので、興味として行う場合もあれば有害獣の駆除としても行う場合もあるそう。また先生は彦根市内で開催されたシティマラソンに参加されるなど多くの個性があつた。

学生に向けたメッセージ

「目標を持って積極的にかつメリハリをつけて勉強しましょう。生物資源管理学科の卒業研究では、一つの研究室に配置されるのは最大4名です。そこで希望のところへ入ろうと学生はアピールしたりして意欲を見せます。けれども配置され

た後に、動物のことをやろうとしてもどうすればいいかわからずに困ってしまう学生や、受け身になってしまう学生さんの中には見受けられます。そういう学生にはもっと自分から積極的にやってほしいですし、そのためにも勉強をしっかりと取り入れてほしいです。本気でやりたいという気持ちにはこちらもしっかりと対応していきたいですからね。また遊ぶときは遊ぶことに集中して、勉強するときは勉強に集中するようにして区別をつけた生活を送ってほしいです。」



平山琢二(ひらやま たくじ)

滋賀県立大学
生物資源管理学科 准教授
2015年6月

受賞・表彰

教職員

人間関係学科
丸山 真央 教授
地域社会学会
第10回地域社会学会奨励賞（個人著作部門）
人間看護学科
平田 弘美 教授
International Journal of Older People Nursing
2016 International Journal of Older People Nursing Paper Award
機械システム工学部
安田 寿彦 教授
滋養発成長産業発掘・育成コンソーシアム
第2回滋養テックブランングランプリ企業賞（東レ賞）
環境政策・計画学科
村上 一真 准教授
2017年度環境経済・政策学会奨励賞
材料科学科
伊田 翔平 助教
国際学会「The 15th International Conference on Advanced Materials Soft Matter Poster Award」
田中 大基 特任研究員
The Interdisciplinary Research and Global Outlook (Irago) Conference 2017 Best Poster Award

個人（学生）

生活デザイン学科
青木 春佳（3年）、西林 瑞基（4年）
日本グラフィックデザイナー協会
JAGDA学生グランプリ2017入選
工学研究科材料科学専攻博士前期課程
浅井 敬祐（1年）
第12回日本セラミックス協会関西支部学術講演会
学生講演賞
工学研究科材料科学専攻博士前期課程
森田 大智（1年）
第49回日本セラミックス協会ガラス部会夏季若手セミナー
優秀発表賞

環境動態学専攻博士後期課程
高柳 春希（3年）
2017年日本レントン学会大会
学生優秀発表賞
工学研究科材料科学専攻博士前期課程
高味 拓永（2年）
第30回日本セラミックス協会秋季シンポジウム
優秀ポスター賞
環境建築デザイン学科
富田 マリン（4年）
平成29年度日本造園学会関西支部大会研究・事例発表
関西支部賞
工学研究科電子システム工学専攻博士前期課程
千頭 龍哉（2年）
日本非破壊検査協会、平成29年度秋季講演大会
新進賞
生活デザイン学科
西林 瑞基（4年）、上田 陽平（3年）
第10回中信生デザインコンテスト
努力賞
工学研究科材料科学専攻博士前期課程
柴崎 和樹（2年）、宮原 和美（2年）
平成29年度ニッセツ成形加工学会秋期大会・成形加工シナリオ
優秀ポスター賞
工学研究科機械システム工学専攻博士前期課程
梅野 遼平（1年）
第22回動力・エネルギー技術シンポジウム
優秀講演表彰
工学研究科材料科学専攻博士前期課程
福本 浩哉（1年）
磁性流体研究会、磁性流体連合講演会
優秀講演賞
工学研究科材料科学専攻博士前期課程
山口 開之（1年）
平成29年度高分子学会北陸支部研究発表会
優秀研究賞
環境動態学専攻博士前期課程
重吉 沙衣（1年）
第17回糸状菌分子生物学コンファレンス
企業特別賞・クミカ奨励賞
生活デザイン学科
西出 佳加（1年）
第9回ジャパンバードハウスコンテスト2017
優秀賞

個人（卒業生）

工学部材料科学科（2016年度修了）
梅本 百合
公益社団法人日本セラミックス協会
第42回学術写真賞
優秀賞
環境生態学科（2016年度修了）
服部 圭治
日本球藻学会第38回大会
最優秀発表賞
生活デザイン学科（2016年度卒業）
高橋 利斉
毎日・DAS学生デザイン賞
入選

団体（学科・クラブ）

生活デザイン学科
山田研究室
第4回石州和紙デザインコンペ
入賞
生活デザイン学科、環境建築デザイン学科
佐々木研究室、高田研究室
ウツドデザイン賞
吹奏楽部
金賞（滋賀県代表に選出）
かるたサークル
第6回おつ光くん杯百人一首競技かるた団体戦
優勝

人事

着任
平成29年8月1日付
岡崎 瑞生
人間看護学部 助教
退職
平成29年10月31日付
伊藤 大輔
工学部 助教



After School Report
K'crew

64人 64色のダンスが
K'crewの個性をつくりあげる
県大でも人気のダンスサークルに密着！！

県大体育館の「個性」のひとつ、ミラーガラス張りのエントランスから聴こえるのは、軽快な音楽とステツ音。64人という大所帯の「K'crew」（クックルー）を率いる部長・南山晃平さん（環境政策・計画学科3年）に早速取材！

LINE名「tsubasa」じゃ……？

「あ、それサークルでの名前です。紛らわしくてすみません」
「K'crew」には「サークル名」があり本名に近いものもあれば、全く違うもので呼ぶことも。経緯はなく気付いた時には呼ばれていたというが、それは普段の南山さんと、ダンスの「subasa」さんの、二つの「個性」を見出すためではないかと感じる。

では、改めて普段の活動を。

「普段は自分が踊りたい時に体育館に来て、好きに踊ります。でもイベントが近いと、みんなで練習したり、衣装づくりもします」
K'crewには6つのジャンルがあり、南山さんは「ハウス」*を担当する。ダンスの構成だけであ



く、衣装も自作だとか。

*速いビートで軽快なステップとフロアワークが特徴的なダンス。

ダンスの大会とは？

「基本はバトル*です。サークル内でも開催しますし、他大学のダンスサークルと共催もします」
学年や男女、経歴差の垣根を超えてグループが結成される。また他大学との交流も盛んであり、合同でバトルや合宿を行う。
*三人一組になり、DJが流す曲に合わせて即興で踊り、観客が判定する形式。

K'crewの「個性」は？

「自由なところですよ。好きな時間に、好きな曲を、好きなだけ踊れる。自分のしたいこと、めいっばい出来るのって魅力的ですね。学年や大学の垣根を越えて、仲がよいのも「K'crew」の良さですかね」



担当スタッフ：小林真紀子

最後にメッセージを！

「大学のコネクションは、部活動が主体だと思っんです。64人を率いるのは簡単じゃないですけど、楽しいです。様々な個性をもった人との繋がりがぶるだけ、いろんな価値観や学びの機会を得られます。その中で、自分の個性を見出すこともありますね」
南山さんは秋の湖風祭で引退、現在は部長職を下級生に引き継いでいる。しかし今後は、OBとして後輩を支え、踊りたいときに「Tsubasa」という南山さんの個性を磨くのだろう。

滋賀県立大学のオリジナルグッズの歴史

現在のオリジナルグッズの紹介

学生ホール（A6棟）1階に、大学生協の「ショップ」があります。文具・書籍・お弁当・パンなど、キャンパスライフの必需品が販売されるその一角に、「滋賀県立大グッズ」のコーナーが設置されています。今回は、県大のオリジナルグッズをご紹介します、その歴史を紐解いていきたいと思います。



現在、販売されているオリジナルグッズとしては、滋賀県立大学日本酒プロジェクトで醸造している純米大吟醸「湖風（こふう）」や、生協のキャラクター「とんがりケンちゃん」をあらわしたボールペン、美しいキャンパス風景が描かれたポストカード、オリジナルクッキー、東日本大震災での学生の活動から絆が生まれた「田の浦ファンクラブ」のパンフレット、大学ロゴの入ったステッカーなどがあります。



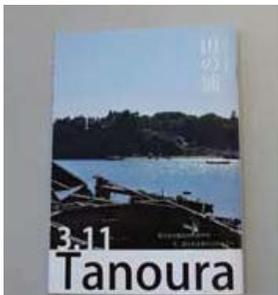
純米大吟醸「湖風（こふう）」



「とんがりケンちゃん」ボールペンと大学ステッカー



留学生が描いた美しい風景のポストカード



「田の浦ファンクラブ」のパンフレット

また、隠しメニューとして、滋賀県立大学校歌「鮎撥ねる」のCDも100円で販売されていますので、興味のある方はカウンターにお尋ねください。



滋賀県立大学校歌「鮎撥ねる」

オリジナルグッズの歴史

開学して10年くらいの間は、ボールペンやシャープペンなどの文具、マグカップ、マイバックなどの日用品、シールやストラップなどの商品を取り扱っていましたが、2006年に、ひとつの大きな動きがありました。



先生・学生・生協等を交えた、「県大オリジナルグッズ委員会」が立ち上がり、魅力的なオリジナルグッズを作

成・販売することで、県大のアイデンティティを周知し、ブランドイメージを向上させよう！という活動が始まったのです。
委員会で議論を進めた結果、「オリジナルクッキー」「オリジナル紙袋」「ポストカード」の制作が決まり、デザインを学生から募り、フォトコンテストを実施するなどして、製品化されました。

学生の活動を支援

次の大きな動きは、2011年に訪れます。東日本大震災により、大きな被害を受けた宮城県南三陸町田の浦。県大の学生が、様々な活動を行い、田の浦のみなさんとのつながりが生まれました。そして、田の浦のまちづくりを推進する、田の浦ファンクラブの活動を支援するため、パンフレットの販売が始まりました。この冊子の売り上げは、諸経費を除いて、すべて田の浦ファンクラブの活動資金として活用されています。

また、2012年には、学生と企業との日本酒プロジェクトで醸造した「湖風」の販売が始まりました。これら、学生の活動を支援するという形で販売も、県大のオリジナルグッズのひとつの柱となっています。

これからの県大グッズ

少子化によって生じる、いわゆる2018年問題（日本の18歳人口が2018年ごろから減り始め、大学においても多数の定員割れが想定される問題）に備えるため、県大では現在、大学のブランド力の向上に取り組みしているところです。



その一環として、オリジナルグッズの制作等によるU-（ユニバーシティ・アイデンティティ）活動を推進するため、今後、魅力的なオリジナルグッズを増やしていく検討を進めていきます。

今後のオリジナルグッズの行方について、大学生協の森山専務理事（写真左）、そして河野店長（写真右）にお話を伺いました。
森山専務理事は、同志社大学などで大学で生協業務を歴任された、いわば生協のプロフェッショナル。そして就任して7年目となる河野店長は、県大生協を知り尽くされた方です。

現在の県大グッズのラインナップは、まだまだ少ないと感じておられ、可能なものから商品化を進めると同時に、学生や教職員にもアンケートを取り、どのようなグッズがほしいか、検討を進めていく予定とのこと。

今後は、県大生が日常使うことができるもの、OBの方などが記念品的に購入できるもの、学生の活動を支援するものという3つの柱で検討していくことや、今は廃盤となったグッズの復刻、とんがりケンちゃんグッズの制作など、いろいろなおアイデアがあることをお伺いしました。今後は大学生協だけでなく、県大の様々な関係者と協力しながら、魅力的なグッズの開発を進めていくこととなります。

いいアイデアをお持ちの方は、生協や大学広報室へいまのうちにご一報を！ そのアイデアが、実現するかもしれませんよ！